

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	18	職員の何気ない言葉の中に不適切なケア(スピーチロック等)となっている事がある。 職員ひとり一人の意識の違いあり、利用者様にあった支援が十分出来ていない。	一方的な説明や説得といった関わりを見直し 利用者の背景を理解した上でひとり一人の利用者の状況に応じたケアを行う。	不適切ケアについて 学習会で勉強し、職員間で日常に潜む不適切ケアの洗い出しと改善策を講じ、実践する。	12ヶ月
2	37	ひとり一人のペースを大切にすべきであるが、利用者全員一緒にペースになりがちで介護計画に反映する事が出来ていない。	介護計画を通してひとり一人の現状に即した支援を行っていく事が出来る。	毎月の学習会、カンファレンスを通じて介護計画の実践状況と目標達成に向けて状況を確認し、職員全員が同じ方向でケアを行っていく。	ヶ月
3	34	火災や地震、水害等の災害想定・年2回訓練を行っているが、職員同士、又、地域の協力体制をもって強化する必要がある。	緊急を要する時は、運営推進委員や地域(近隣)の方に協力を依頼出来る体制作りをする。	運営推進委員や運営推進会議での話・町内の回覧板を活用させて頂き、木洩れ陽の様子を発信し、協力をお願いする。	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。